哲学　　伊野　連

授業概要

哲学について、初歩から学び、基本的な理解を身につけます。古代ギリシャの哲学からはじめて20 世紀まで、中世、ルネサンス、近世、近代、20 世紀、そして現代と西洋全般を分け隔てなく学びます。
　哲学の歴史（history）を流れる物語（story）をたどることで、偉大な哲学者の思想を理解します。

授業計画

第１回	哲学をどのように学ぶか 西洋哲学と東洋哲学、哲学史と哲学概論
第２回	古代ギリシャ哲学（1） 前ソクラテス期、ソクラテス、プラトン
第３回	古代ギリシャ哲学（2） アリストテレス、ストア哲学
第４回	中世哲学 プロティノス、アウグスティヌス、トマス・アクィナスほか
第５回	レポートの書き方（1）
第６回	近世哲学（1） イギリス経験論（ベイコン、ホッブズ、ロック、ヒュームほか）
第７回	近世哲学（2） 大陸号理論（デカルト、パスカル、スピノザ、ライプニッツほか）
第８回	近代哲学（1） カントの批判哲学（1）
第９回	近代哲学（2） カントの批判哲学（2）
第10回	レポートの書き方（2）
第11回	近代哲学（3） ドイツ観念論（フィヒテ、シェリング、ヘーゲルほか）
第12回	近代哲学（4） 19 世紀（ショーペンハウアー、ニーチェ、ミルほか）
第13回	20 世紀哲学（1） フッサール現象学とハイデガー
第14回	20 世紀哲学（2） 英米哲学とフランス哲学
第15回	全体のまとめ
第16回	筆記試験（教場レポート形式）

到達目標

・哲学史を通じて哲学の重要問題について理解する。
・哲学を教養として身につけ、さらに主体的に考えるための道具にできるようにする。
・哲学を基礎として、西洋文化のさまざまな分野（芸術、歴史等）の理解を深める。

履修上の注意

・初心者から中・上級者まで、広く受講できる授業です。
・既習内容についてはこまめに復習して定着させるよう努めましょう。
・疑問点を日頃から用意し整理しておきましょう。

予習復習

・教材をきちんと整理・保管し、授業で学んだことを復習しておくこと。
・次回以降の課題についても、自分で調べられるものは読んでおくなどするのが望ましい。

評価方法

・平常点（レビューシート等による授業への積極的な参加）50%
・筆記試験（教場レポート形式、あらかじめ提示された課題について論ずる。自作ノート持込可）50%

テキスト

・教科書：『哲学・倫理学の歴史』伊野連著、三恵社、2016 年刊。
その他、パワーポイント、プリント等を配布することもあります。
・参考書：『ドイツ近代哲学における藝術の形而上学』伊野連著、リベルタス出版、2012 年刊。
　それ以外のものはそのつど教室で指示します。